

2013年度決算説明会(電話会議)資料

2014年 5月20日(火)

MS&AD

INSURANCE GROUP

MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社

全体目次

2013年度決算の概要

グループ連結	資料1-3
国内損害保険会社	資料4-8
国内生命保険会社	資料9-10
海外保険子会社	資料11

2013年度決算データ

三井住友海上(単体)	資料12-14
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料15-17

2014年度業績予想

グループ連結	資料18-20
今回業績予想の主な前提	資料21
三井住友海上(単体)	資料22-23
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料24-25

2013年度決算の概要

グループ連結	資料 1-3
国内損害保険会社	資料 4-8
国内生命保険会社	資料 9-10
海外保険子会社	資料 11

資料1 グループ連結（2013年度）①業績の概要 1

- ・元受正味保険料は、前期比+6.3%増収となる 3兆693億円
- ・正味収入保険料は、国内損害保険会社、海外保険子会社ともに貢献し、前期比+6.4%の増収
- ・生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命の販売好調が牽引し、前期比+19.3%の増収

(億円)

	2012年度	2013年度	2013年度	
			前期比	増減率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	28,864	30,693	1,829	6.3%
正味収入保険料※	26,394	28,095	1,701	6.4%
三井住友海上	13,142	13,845	702	5.3%
あいおいニッセイ同和損保	11,032	11,446	413	3.8%
三井ダイレクト損保	352	355	2	0.8%
海外保険子会社	1,861	2,406	544	29.2%
生命保険料	5,690	6,789	1,099	19.3%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考:保険料(グロス収入保険料)>

	2012年度	2013年度	2013年度	
			前期比	増減率
三井住友海上あいおい生命	4,213	4,167	△ 46	△ 1.1%
三井住友海上プライマリー生命	4,493	8,264	3,771	83.9%

資料2 グループ連結（2013年度）①業績の概要 2

- ・ 経常利益は、大雪の影響があったものの、資産運用の大幅増益により前期比+26.6%の1,902億円
- ・ 当期純利益は、前期比+11.8%の934億円、MS&ADグループ発足以来の最高益を達成
- ・ グループコア利益は、前期比+8.5%の948億円

	2012年度	2013年度	(億円)	
			前期比	増減率
経常利益 [※]	1,503	1,902	399	26.6%
三井住友海上	653	1,019	366	56.0%
あいおいニッセイ同和損保	258	278	20	7.9%
三井ダイレクト損保	5	2	△ 2	△ 43.3%
三井住友海上あいおい生命	74	174	100	134.1%
三井住友海上プライマリー生命	389	398	9	2.4%
海外保険子会社	188	298	110	58.5%
その他・連結調整等	△ 67	△ 271	△ 204	-
当期純利益 [※]	836	934	98	11.8%
三井住友海上	426	580	153	36.1%
あいおいニッセイ同和損保	188	131	△ 57	△ 30.5%
三井ダイレクト損保	3	1	△ 1	△ 49.8%
三井住友海上あいおい生命	4	66	62	1,356.4%
三井住友海上プライマリー生命	103	179	75	73.2%
海外保険子会社	126	199	72	57.4%
その他・連結調整等	△ 17	△ 224	△ 207	-
グループコア利益 [※]	874	948	74	8.5%
グループROE [※]	5.0%	4.5%	△ 0.5pt	-

※ 子会社の経常利益、当期純利益は、出資持分ベース。「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページご参照

資料3 グループ連結（2013年度）②前期との比較

- ・国内損保では、2月の大雪影響は△678億円。大雪を除く保険引受利益は前期比+347億円
- ・国内損保の資産運用損益は、市場環境の好転により大きく改善し、前期比+717億円
- ・成長分野である国内生保、海外事業でも、それぞれ前期比100億円を超える増益

連結経常利益の増減要因

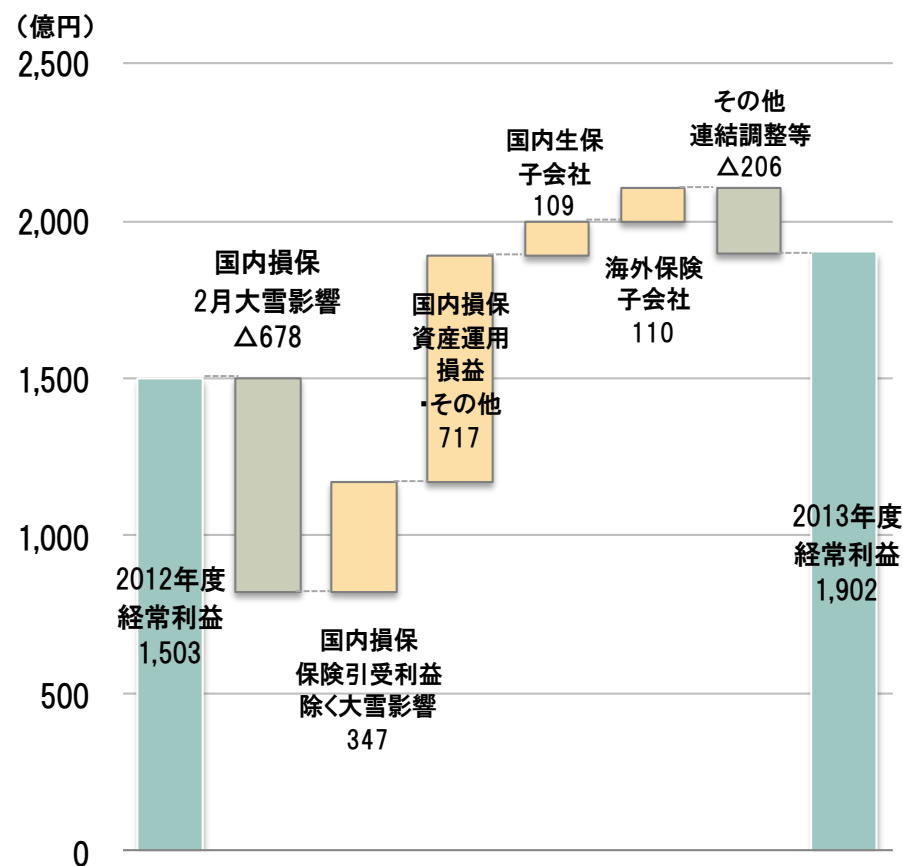
(億円)

	2012年度 (a)	2013年度 (b)	差額 (b)-(a)
連結経常利益	1,503	1,902	399
国内損保 ^{※1}			
2月の大雪に係る 保険引受利益影響額 ^{※2}	-	△ 678	△ 678
国内損保 ^{※1}			
保険引受利益 (2月の大雪除き)	△ 30	317	347
国内損保 ^{※1}			
資産運用損益・その他	942	1,660	717
国内生保子会社	464	573	109
海外保険子会社	188	298	110
その他連結調整等	△ 62	△ 268	△ 206

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 異常危険準備金の取崩額を含む

【連結経常利益】



資料4 国内損害保険会社（2013年度）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は、火災保険や自動車保険を中心に堅調に、2社合計で前年比+4.6%、1,116億円の増収
- ・ コンバインド・レシオは損害率の改善により、2社合計で前期比△7.0pt低下し、98.2%

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前期比		前期比		前期比
	(億円)					
正味収入保険料	13,845	702	11,446	413	25,291	1,116
正味収入保険料 増収率	5.3%	1.8pt	3.8%	1.1pt	4.6%	1.5pt
正味支払保険金	(-) 8,236	△ 637	6,917	△ 343	15,154	△ 981
<インカードロス>	(-) 8,321	△ 10	7,289	119	15,611	109
諸手数料及び集金費	(-) 2,390	103	2,047	89	4,437	193
営業費及び一般管理費(保険引受)	(-) 2,045	71	1,904	102	3,950	173
普通責任準備金繰入額	(-) 454	215	30	160	484	375
異常危険準備金戻入額	21	△ 157	8	△ 232	30	△ 389
保険引受利益	△ 73	23	△ 288	△ 355	△ 361	△ 331
諸比率						
正味損害率	65.1%	△ 8.2pt	65.0%	△ 5.4pt	65.0%	△ 7.0pt
正味事業費率	32.0%	△ 0.4pt	34.5%	0.4pt	33.2%	0.0pt
コンバインド・レシオ	97.1%	△ 8.6pt	99.5%	△ 5.0pt	98.2%	△ 7.0pt
<除く家計地震・自賠責>						
正味損害率	62.2%	△ 8.3pt	62.0%	△ 5.3pt	62.1%	△ 7.0pt
正味事業費率	34.1%	0.0pt	36.5%	0.8pt	35.2%	0.4pt
コンバインド・レシオ	96.3%	△ 8.3pt	98.5%	△ 4.5pt	97.3%	△ 6.6pt

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料5 国内損害保険会社（2013年度）①主要2社の業績概要 2

- ・ 資産運用・その他収支は、市場環境の好転により、2社合計で前期比+717億円の増加
- ・ 当期純利益は、2社合計で前期比+96億円の 711億円

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前期比		前期比		前期比
保険引受利益	△ 73	23	△ 288	△ 355	△ 361	△ 331
ネット利息及び配当金収入	709	131	459	56	1,168	188
有価証券売却損益	548	16	195	123	743	139
有価証券評価損	(-) 33	△ 249	36	△ 61	70	△ 311
資産運用・その他収支	1,093	342	567	375	1,660	717
経常利益	1,019	366	278	20	1,298	386
特別損益	△ 174	△ 151	△ 56	△ 40	△ 231	△ 191
税引前当期純利益	845	214	222	△ 19	1,067	194
当期純利益	580	153	131	△ 57	711	96

資料6 国内損害保険会社（2013年度）②自然災害の影響

- ・ 2月の大雪に係るインカードロスは、821億円。異常危険準備金取崩し効果を含め、保険引受利益を678億円押し下げた。
- ・ 国内自然災害・タイ洪水のインカードロスが減少し、大雪と両者のインカードロスの合計は、前期比+408億円に留まった。

2月の大雪・国内自然災害およびタイ洪水の影響

(億円)

	支払保険金		支払備金積増額		インカードロス		支払備金残高
		前期比		前期比		前期比	
2014年2月大雪による損害	184	184	637	637	821	821	637
三井住友海上	86	86	368	368	454	454	368
あいおいニッセイ同和損保	98	98	269	269	367	367	269
当年度発生国内自然災害	319	△ 179	52	18	371	△ 160	52
三井住友海上	182	△ 101	37	14	219	△ 87	37
あいおいニッセイ同和損保	137	△ 77	14	4	152	△ 73	14
タイ洪水(2011年度発生)	427	△ 429	△ 671	176	△ 244	△ 253	215
三井住友海上	366	△ 364	△ 569	96	△ 203	△ 267	190
あいおいニッセイ同和損保	34	△ 53	△ 61	84	△ 26	31	9
海外保険子会社	25	△ 11	△ 40	△ 5	△ 14	△ 16	14
合 計	930	△ 424	18	832	948	408	905

資料7 国内損害保険会社（2013年度）③準備金・評価損

- ・ 異常危険準備金は、支払保険金減少により取崩額が減少。これに伴い、異常危険準備金の追加繰入は実施せず。
- ・ 2013年度の政策株式売却額は、1,735億円。2011年度からの通算売却実績は、3,764億円

異常危険準備金

(億円)

	三井住友海上				あいおいニッセイ同和損保			
	取崩額	繰入額	ネット増減額	残高	取崩額	繰入額	ネット増減額	残高
火災	296	191	△ 105	1,005	159	108	△ 50	1,045
海上	-	25	25	693	-	5	5	138
傷害	74	45	△ 29	621	-	23	23	589
自動車	189	194	5	194	207	212	4	212
その他	19	101	81	1,470	42	51	9	505
合計	579	558	△ 21	3,985	410	401	△ 8	2,491
(前期比)	△ 604	△ 446	157		△ 208	23	232	

有価証券評価損

(億円)

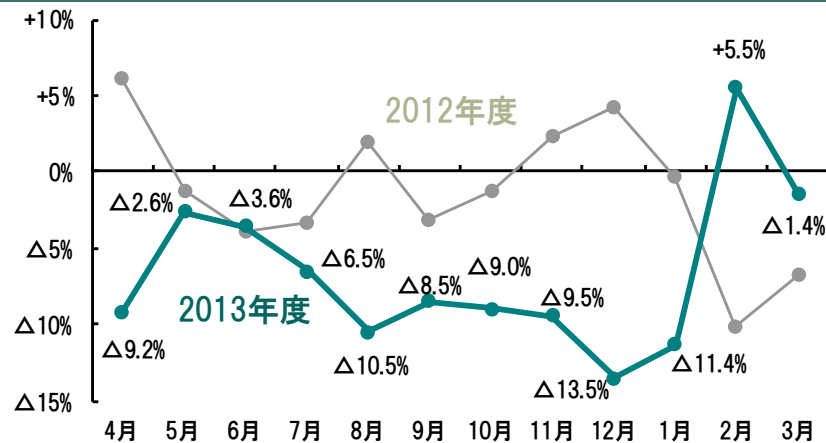
	MS&AD ホールディングス (連結)	三井住友海上 (単体)	あいおいニッセイ 同和損保(単体)	その他子会社 (単体)	連結調整
	有価証券評価損	32	33	36	1
(前期比)	△ 350	△ 249	△ 61	△ 1	△ 37

資料8 国内損害保険会社（2013年度）④自動車保険の状況

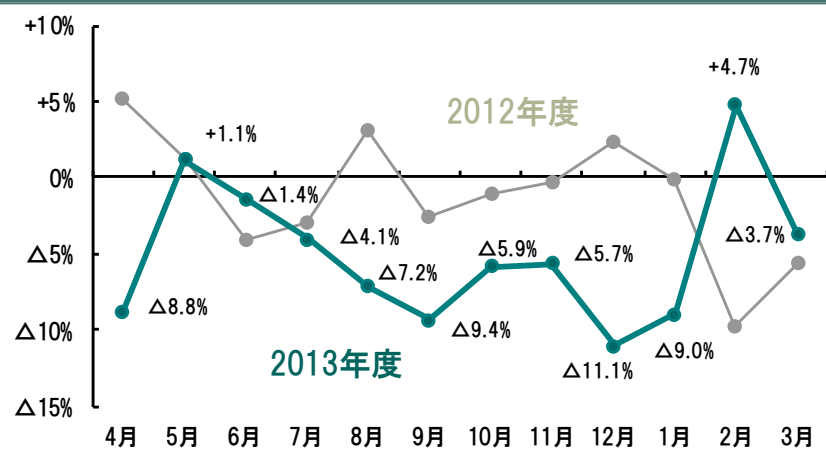
- ・商品改定効果による保険料単価の上昇を主因に保険料収入は拡大
- ・事故件数の減少と保険料収入の拡大により、EI損害率は大幅に改善。 但し、保険金単価は引き続き上昇傾向

事故件数の推移（除く自然災害*，1日あたり，対前年同月増減）*このページにおいて「自然災害」は2月大雪等の雪害を含まない

三井住友海上



あいおいニッセイ同和損保



保険料・保険金・EI損害率

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.5%	+2.4%	+2.9%
<国内>	対人	対物	車両 (除く自然災害)
保険金単価増減	+16.2%	+3.4%	+9.1%
<含む損害調査費>	2012.3	2013.3	2014.3
EI損害率	73.0%	69.8%	66.5%

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	△0.8%	+2.3%	+1.5%
<国内>	対人	対物	車両 (除く自然災害)
保険金単価増減	+9.6%	+5.2%	+10.4%
<含む損害調査費>	2012.3	2013.3	2014.3
EI損害率	69.9%	68.8%	66.3%

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-3月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2013年3月末までの1年間の保険金単価に対する、2014年3月末までの1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率は、損害調査費を含むベース。期間は各年度の4-3月

資料9 国内生命保険会社(三井住友海上あいおい生命) 2013年度業績概要

- ・ 新契約高は、昨年4月の料率改定影響などにより、前期比△28.0%
- ・ 第三分野の新契約年換算保険料は、新商品(新医療A)の販売好調により、前期比+55.9%
- ・ 当期純利益は、責任準備金繰入負担の軽減、資産運用収益の増加等により、66億円
- ・ EEVは、新契約価値の増加および経済環境の変動影響を主因に、前期比+916億円増加し 5,881億円

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2012年度	2013年度		
			前期比	増減率
新契約高 (個人合計)	37,105	26,722	△ 10,383	△ 28.0%
保有契約高 (個人合計)	200,746	211,050	10,304	5.1%
新契約年換算保険料	502	423	△ 78	△ 15.6%
うち 第三分野	69	109	39	55.9%
保有契約年換算保険料	3,197	3,358	161	5.1%
うち 第三分野	551	611	59	10.8%
保険料(グロス収入保険料)	4,213	4,167	△ 46	△ 1.1%
経常利益	74	174	100	134.1%
当期純利益	4	66	62	1,356.4%
基礎利益	58	153	95	163.3%
EEV	4,964	5,881	916	
純資産価値	1,989	1,950	△ 39	
保有契約価値	2,974	3,931	956	
うち新契約価値	87	391	303	

資料10 国内生命保険会社(三井住友海上プライマリー生命) 2013年度業績概要

- ・ グロス収入保険料は、定額終身の販売好調により 前期比+83.9%増収し 8,264億円
- ・ 当期純利益は、保有契約高増加に伴う手数料収入の拡大などにより、前期比+73.2%増益の 179億円
- ・ 最低保証リスク、為替変動リスクへの備えとして、危険準備金50億円、価格変動準備金150億円の追加積立を実施

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2012年度	2013年度	前期比	
			前期比	増減率
新契約高 (個人合計)	4,322	8,005	3,683	85.2%
保有契約高 (個人合計)	36,614	40,243	3,629	9.9%
新契約年換算保険料	1,072	1,619	547	51.0%
保有契約年換算保険料	4,342	4,543	200	4.6%
保険料(グロス収入保険料)	4,493	8,264	3,771	83.9%
経常利益	389	398	9	2.4%
当期純利益	103	179	75	73.2%
基礎利益	379	583	204	53.9%
EEV	1,612	2,329	717	
純資産価値	957	1,326	368	
保有契約価値	654	1,003	348	
うち新契約価値	158	287	128	

資料11 海外保険子会社（2013年度）業績概要

- ・ 正味収入保険料は、全地域において現地通貨ベースで増収。円安効果もあり、前年比+29.2%となる544億円の増収
- ・ 当期純利益は、保険引受収益の増益を主因として、前期比+72億円増益の199億円

海外保険子会社					(億円)
	2012年度	2013年度			
			前期比	増減率	
正味収入保険料	1,861	2,406	544	29.2%	
アジア	919	1,186	266	29.0%	
欧州	508	689	181	35.7%	
米州	278	363	85	30.8%	
再保険	156	167	10	6.9%	
当期純利益	126	199	72	57.4%	
アジア	90	115	24	27.4%	
欧州	△ 16	△ 2	14	-	
米州	1	0	△ 0	△ 57.4%	
再保険	51	85	34	66.1%	

2013年度決算 データ

三井住友海上(単体)

資料12-14

あいおいニッセイ同和損保(単体)

資料15-17

資料12 三井住友海上（単体）2013年度業績 ①

（億円）

	2012年度	2013年度	
			前期比
正味収入保険料	13,142	13,845	702
正味収入保険料 増収率	3.5%	5.3%	1.8pt
正味損害率	73.3%	65.1%	△8.2pt
正味事業費率	32.4%	32.0%	△0.4pt
コンバインド・レシオ	105.7%	97.1%	△8.6pt
インカードロス	8,331	8,321	△10
保険引受利益	△97	△73	23
ネット利息及び配当金収入	577	709	131
有価証券売却損益	531	548	16
有価証券評価損	△283	△33	249
資産運用損益	825	1,251	426
経常利益	653	1,019	366
特別損益	△23	△174	△151
当期純利益	426	580	153
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	3.1%	4.7%	1.6pt
正味損害率	70.5%	62.2%	△8.3pt
正味事業費率	34.1%	34.1%	0.0pt
コンバインド・レシオ	104.6%	96.3%	△8.3pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料13 三井住友海上（単体）2013年度業績 ②

正味収入保険料 (億円)

	2012年度	2013年度	
			増収率
火災	1,878	2,122	13.0%
海上	537	567	5.6%
傷害	1,429	1,446	1.2%
自動車	5,905	6,083	3.0%
自賠責	1,572	1,734	10.3%
その他	1,818	1,889	3.9%
合計	13,142	13,845	5.3%
除く家計地震・自賠責	11,559	12,103	4.7%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2012年度	2013年度	
			前期比
火災	107.2%	70.9%	△36.3pt
海上	51.9%	59.6%	7.7pt
傷害	59.2%	60.4%	1.2pt
自動車	68.7%	63.5%	△5.2pt
自賠責	94.4%	85.4%	△9.0pt
その他	52.7%	50.2%	△2.5pt
合計	73.3%	65.1%	△8.2pt
除く家計地震・自賠責	70.5%	62.2%	△8.3pt

資料14 三井住友海上(単体) 2013年度業績 ③

インカードロスとEI損害率 (除く損害調査費)

(億円)

	2012年度					2013年度					前期比
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率 (除く自然災害 影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	1,294	76.1%	310	983	57.8%	1,254	69.0%	364	889	48.9%	△8.9pt
海上	280	53.1%	0	279	53.0%	351	62.9%	4	347	62.2%	9.2pt
傷害	768	54.9%	△0	768	54.9%	783	55.2%	0	782	55.1%	0.2pt
自動車	3,638	62.4%	33	3,604	61.8%	3,565	59.2%	60	3,504	58.2%	△3.6pt
その他	999	56.4%	25	974	54.9%	1,006	55.1%	39	967	53.0%	△1.9pt
合計(A)	6,981	62.1%	370	6,610	58.8%	6,961	59.8%	469	6,491	55.8%	△3.0pt
家計地震(B)	—	/	—	—	/	—	/	—	—	/	/
自賠償(C)	1,350	/	—	1,350	/	1,359	/	—	1,359	/	/
合計(A)+(B)+(C)	8,331	/	370	7,960	/	8,321	/	469	7,851	/	/

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額

※EI損害率の分母となるアーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

資料15 あいおいニッセイ同和損保（単体）2013年度業績 ①

（億円）

	2012年度	2013年度	
			前期比
正味収入保険料	11,032	11,446	413
正味収入保険料 増収率	2.7%	3.8%	1.1pt
正味損害率	70.4%	65.0%	△5.4pt
正味事業費率	34.1%	34.5%	0.4pt
コンバインド・レシオ	104.5%	99.5%	△5.0pt
インカードロス	7,170	7,289	119
保険引受利益	66	△288	△355
ネット利息及び配当金収入	402	459	56
有価証券売却損益	72	195	123
有価証券評価損	△ 97	△ 36	61
資産運用損益	197	530	332
経常利益	258	278	20
特別損益	△16	△56	△40
当期純利益	188	131	△57
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	2.4%	3.2%	0.8pt
正味損害率	67.3%	62.0%	△5.3pt
正味事業費率	35.7%	36.5%	0.8pt
コンバインド・レシオ	103.0%	98.5%	△4.5pt

資料16 あいおいニッセイ同和損保（単体）2013年度業績 ②

正味収入保険料 (億円)

	2012年度	2013年度	
			増収率
火災	1,263	1,357	7.4%
海上	95	112	17.2%
傷害	719	726	1.0%
自動車	6,448	6,589	2.2%
自賠責	1,528	1,642	7.5%
その他	975	1,017	4.3%
合計	11,032	11,446	3.8%
除く家計地震・自賠責	9,496	9,798	3.2%

正味損害率

	2012年度	2013年度	
			前期比
火災	81.1%	64.8%	△16.3pt
海上	50.5%	52.4%	1.9pt
傷害	51.8%	50.3%	△1.5pt
自動車	67.1%	63.2%	△3.9pt
自賠責	90.4%	83.0%	△7.4pt
その他	63.2%	59.3%	△3.9pt
合計	70.4%	65.0%	△5.4pt
除く家計地震・自賠責	67.3%	62.0%	△5.3pt

資料17 あいおいニッセイ同和損保(単体) 2013年度業績 ③

インカードロスとEI損害率 (除く損害調査費)

(億円)

	2012年度					2013年度					前期比
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率 (除く自然災害 影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	810	62.8%	125	684	53.0%	1,005	73.9%	395	609	44.9%	△8.1pt
海上	52	56.7%	—	52	56.7%	52	49.6%	—	52	49.6%	△7.1pt
傷害	337	49.3%	0	337	49.3%	337	49.6%	0	337	49.5%	0.2pt
自動車	4,079	63.7%	35	4,044	63.1%	4,016	61.4%	77	3,939	60.2%	△2.9pt
その他	618	62.6%	6	612	61.9%	614	61.7%	20	594	59.7%	△2.2pt
合計(A)	5,899	62.3%	167	5,731	60.6%	6,027	62.3%	493	5,534	57.2%	△3.4pt
家計地震(B)	—	/	—	—	/	—	/	—	—	/	/
自賠償(C)	1,271	/	—	1,271	/	1,262	/	—	1,262	/	/
合計(A)+(B)+(C)	7,170	/	167	7,002	/	7,289	/	493	6,796	/	/

※インカードロス=正味支払保険金+支払備金積増額

※EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

2014年度業績予想

グループ連結	資料18-20
今回業績予想の主な前提	資料21
三井住友海上(単体)	資料22-23
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料24-25

資料18 グループ連結 2014年度業績予想 ①

- ・ 正味収入保険料は前期比+1,154億円、増収率+4.1%の2兆9,250億円を予想
- ・ 国内損保では成長戦略の実現により増収。海外では引き続き業容拡大を見込む。

(億円)

	2013年度	2014年度(見込)		
		前期比	増減率	
正味収入保険料 [※]	28,095	29,250	1,154	4.1%
三井住友海上	13,845	14,330	484	3.5%
あいおいニッセイ同和損保	11,446	11,560	113	1.0%
三井ダイレクト損保	355	362	6	1.8%
海外保険子会社	2,406	2,940	533	22.2%
生命保険料	6,789	6,310	△ 479	△ 7.1%

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考：保険料（グロス収入保険料）>

	2013年度	2014年度(見込)		
		前期比	増減率	
三井住友海上あいおい生命	4,167	4,453	285	6.8%
三井住友海上プライマリー生命	8,264	5,000	△ 3,264	△ 39.5%

資料19 グループ連結 2014年度業績予想 ②

- ・ 経常利益1,500億円、当期純利益は1,000億円を予想
- ・ 当期純利益では、生保事業で減益となるものの、国内損保、海外事業で増益を見込む。

(億円)

	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
経常利益	1,902	1,500	△ 402
三井住友海上	1,019	790	△ 229
あいおいニッセイ同和損保	278	270	△ 8
当期純利益 ※	934	1,000	65
三井住友海上	580	620	39
あいおいニッセイ同和損保	131	340	208
三井ダイレクト損保	1	1	△ 0
三井住友海上あいおい生命	66	10	△ 56
三井住友海上プライマリー生命	179	120	△ 59
海外保険子会社	199	240	40
その他・連結調整等	△ 224	△ 331	△ 107

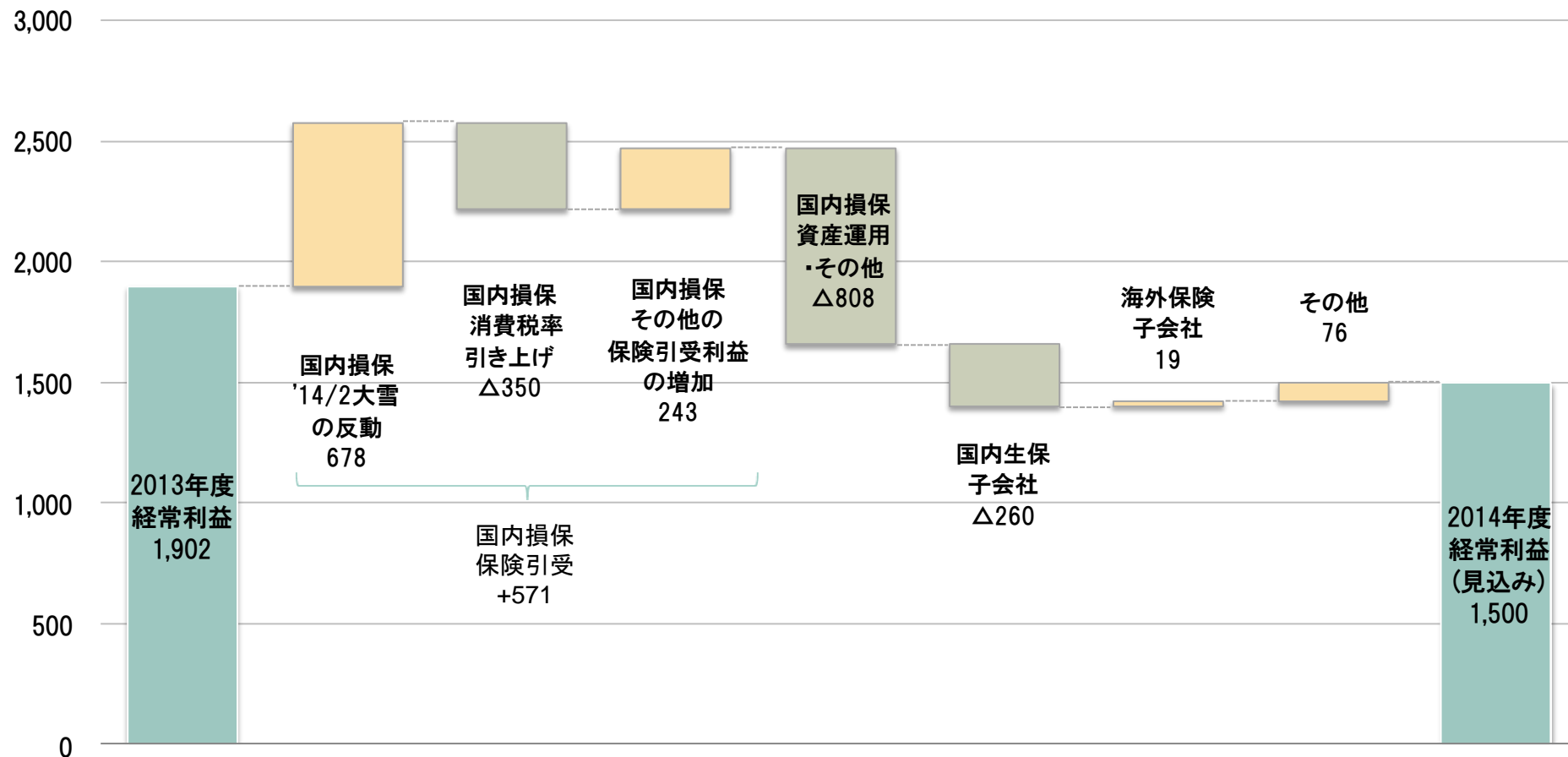
※子会社の当期純利益は、出資持分ベース

資料20 2014年度連結業績予想 ③実績との対比

- ・国内損保2社は、消費税率引き上げの負担があるものの、保険引受利益では前期比増益を見込む。
- ・一方、国内損保2社の資産運用損益および国内生保子会社では減益を予想

連結経常利益の推移と主な増減要因

(億円)



※ 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

資料21 今回業績予想の主な前提

- ・ 2013年度決算を踏まえ、財務の健全性を確保しつつ、成長の持続、収益性の向上を目指す。
- ・ 過年度発生の大雪・タイ洪水の支払保険金を約750億円見込む。

【業績予想の主要前提項目】

	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保
市場環境の前提	2014年3月末水準を想定 (参考)2014年3月末 日経平均 14,827.83円 米ドル 102.92円 ユーロ 141.65円	
当年度発生国内自然災害	230億円	150億円
大雪 (2014年2月発生)	正味支払保険金	245億円
	期末支払備金残高	25億円
タイ洪水 (2011年度発生)	正味支払保険金	9億円
	期末支払備金残高	-
異常危険準備金	火災保険繰入率	8%
	火災保険積増	△68億円
特別損益 (機能別再編に係る移行対価) ^{※1}	18億円	248億円
法人税率 (実効税率)	30.7%	

※1 機能別再編に係る移行対価は、グループの内部取引であり、連結消去によりグループの連結業績には影響しない。

※2 上記以外に、三井住友海上プライマリー生命について、価格変動準備金の追加繰入50億円を見込む。

資料22 三井住友海上（単体）2014年度業績予想 ①

（億円）

	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
正味収入保険料	13,845	14,330	484
正味収入保険料 増収率	5.3%	3.5%	△ 1.8pt
正味損害率	65.1%	65.7%	0.6pt
正味事業費率	32.0%	32.2%	0.2pt
コンバインド・レシオ	97.1%	97.9%	0.8pt
インカードロス	8,321	8,138	△ 182
保険引受利益	△ 73	110	183
ネット利息及び配当金収入	709	611	△ 98
有価証券売却損益	548	187	△ 361
有価証券評価損	△ 33	△ 30	3
資産運用損益	1,251	738	△ 513
経常利益	1,019	790	△ 229
特別損益	△ 174	17	191
当期純利益	580	620	39
〈除く家計地震・自賠償〉			
正味収入保険料 増収率	4.7%	3.4%	△ 1.3pt
正味損害率	62.2%	63.3%	1.1pt
正味事業費率	34.1%	34.4%	0.3pt
コンバインド・レシオ	96.3%	97.7%	1.4pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料23 三井住友海上（単体）2014年度業績予想 ②

正味収入保険料 (億円)

	2013年度	2014年度(見込)	
			増収率
火災	2,122	2,229	5.0%
海上	567	612	7.9%
傷害	1,446	1,471	1.7%
自動車	6,083	6,260	2.9%
自賠責	1,734	1,806	4.1%
その他	1,889	1,952	3.3%
合計	13,845	14,330	3.5%
除く家計地震・自賠責	12,103	12,516	3.4%

正味損害率

	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
火災	70.9%	74.9%	4.0pt
海上	59.6%	54.0%	△ 5.6pt
傷害	60.4%	58.5%	△ 1.9pt
自動車	63.5%	64.6%	1.1pt
自賠責	85.4%	82.9%	△ 2.5pt
その他	50.2%	52.2%	2.0pt
合計	65.1%	65.7%	0.6pt
除く家計地震・自賠責	62.2%	63.3%	1.1pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

インカードロス (億円)

	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
インカードロス(除く損害調査費) ^{※1}	8,321	8,138	△ 182
自然災害 ^{※2}	469	230	△ 239
自然災害以外	7,851	7,908	57

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪（2014年2月発生）およびタイ洪水をいう。

2013年度の「自然災害」には、タイ洪水のインカードロス△203億円、2014年2月発生の大雪に伴うインカードロス454億円を含む。

資料24 あいおいニッセイ同和損保（単体） 2014年度業績予想 ①

（億円）

	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
正味収入保険料	11,446	11,560	113
正味収入保険料 増収率	3.8%	1.0%	△ 2.8pt
正味損害率	65.0%	66.7%	1.7pt
正味事業費率	34.5%	35.8%	1.3pt
コンバインド・レシオ	99.5%	102.5%	3.0pt
インカードロス	7,289	6,988	△ 301
保険引受利益	△ 288	100	388
ネット利息及び配当金収入	459	313	△ 146
有価証券売却損益	195	29	△ 166
有価証券評価損	△ 36	△ 50	△ 13
資産運用損益	530	170	△ 360
経常利益	278	270	△ 8
特別損益	△ 56	210	266
当期純利益	131	340	208
<除く家計地震・自賠責>			
正味収入保険料 増収率	3.2%	0.8%	△ 2.4pt
正味損害率	62.0%	64.4%	2.4pt
正味事業費率	36.5%	38.1%	1.6pt
コンバインド・レシオ	98.5%	102.5%	4.0pt

資料25 あいおいニッセイ同和損保（単体）2014年度業績予想 ②

正味収入保険料		(億円)	
	2013年度	2014年度(見込)	
			増収率
火災	1,357	1,360	0.2%
海上	112	81	△27.9%
傷害	726	725	△0.2%
自動車	6,589	6,701	1.7%
自賠責	1,642	1,674	1.9%
その他	1,017	1,019	0.1%
合計	11,446	11,560	1.0%
除く家計地震・自賠責	9,798	9,881	0.8%

正味損害率			
	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
火災	64.8%	72.9%	8.1pt
海上	52.4%	58.0%	5.6pt
傷害	50.3%	48.6%	△ 1.7pt
自動車	63.2%	64.1%	0.9pt
自賠責	83.0%	80.8%	△ 2.2pt
その他	59.3%	66.2%	6.9pt
合計	65.0%	66.7%	1.7pt
除く家計地震・自賠責	62.0%	64.4%	2.4pt

インカードロス		(億円)	
	2013年度	2014年度(見込)	
			前期比
インカードロス(除く損害調査費) ^{※1}	7,289	6,988	△ 301
自然災害 ^{※2}	493	150	△ 343
自然災害以外	6,796	6,838	41

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水をいう。

2013年度の「自然災害」には、タイ洪水のインカードロス△26億円、2014年2月発生の大雪に伴うインカードロス367億円を含む。

「グループコア利益」「グループROE」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益(売却損益等) - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因
+ 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 期初・期末平均連結純資産(除く少数株主持分)

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-6202-5268

e-mail: ms_ad_ir@ms-ad-hd.com

URL: <http://www.ms-ad-hd.com>